

鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

基本理念	誰もが、いつまでも生き活きと暮らし続けられる地域社会の実現																																				
基本目標	I いきいきと活動的に暮らせるために																																				
主要な施策	1 介護予防の推進																																				
取組内容	(1) 健康寿命の延伸に向けた施策の推進 (2) 生活習慣病予防の推進 (3) 身近な地域での介護予防活動の促進 (4) 専門職種による介護予防の機能強化																																				
現状・実績	(1)「いきいき健康つるおか21保健行動計画」と整合性を図りながら、関係課・機関との協働による各年齢層に対し切れ目のない健康づくり対策を進めている。 (2) 特定健診受診率は、51.3%(H29)から49.7%(R1)と微減。受診者のうち保健指導該当者は、10.9%(H29)から10.5%(R1)と横ばい。 国保データベース(KDB)システムを活用し、脳卒中予防重点地区事業に取り組んだり、糖尿病予防対策事業、認知症予防事業など地域の健康課題に基づいた、健康学習活動を支援している。 (3)いきいき百歳体操をツールとした身近な地域での介護予防通いの場は増加しており、運動のみならず栄養・口腔・社会参加などフレイル予防の視点でプログラムを組み支援している。 (4)住民主体の介護予防通いの場で、リハビリテーション専門職の講師謝礼等に活用できるように活動補助金を交付。地域へ支援できる専門職を集約し名簿として作成。 【実績】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #cccccc;">評価項目</th> <th style="background-color: #cccccc;">29年度</th> <th style="background-color: #cccccc;">30年度</th> <th style="background-color: #cccccc;">元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康づくり講演会・相談会実施回数</td> <td>695</td> <td>623</td> <td>555</td> </tr> <tr> <td>上記参加延べ人数(人)</td> <td>14,935</td> <td>14,883</td> <td>12,991</td> </tr> <tr> <td>いきいき百歳体操・週1回実施団体数</td> <td>47</td> <td>71</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>上記登録実人数(人)</td> <td>926</td> <td>1,317</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>介護予防講座開催回数</td> <td>237</td> <td>176</td> <td>186</td> </tr> <tr> <td>上記参加延べ人数(人)</td> <td>4,360</td> <td>3,578</td> <td>3,458</td> </tr> <tr> <td>地域介護予防活動支援事業補助金交付団体数</td> <td>29</td> <td>48</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>上記登録実人数(人)</td> <td>678</td> <td>1,136</td> <td>1,229</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	29年度	30年度	元年度	健康づくり講演会・相談会実施回数	695	623	555	上記参加延べ人数(人)	14,935	14,883	12,991	いきいき百歳体操・週1回実施団体数	47	71	98	上記登録実人数(人)	926	1,317	2,000	介護予防講座開催回数	237	176	186	上記参加延べ人数(人)	4,360	3,578	3,458	地域介護予防活動支援事業補助金交付団体数	29	48	56	上記登録実人数(人)	678	1,136	1,229
評価項目	29年度	30年度	元年度																																		
健康づくり講演会・相談会実施回数	695	623	555																																		
上記参加延べ人数(人)	14,935	14,883	12,991																																		
いきいき百歳体操・週1回実施団体数	47	71	98																																		
上記登録実人数(人)	926	1,317	2,000																																		
介護予防講座開催回数	237	176	186																																		
上記参加延べ人数(人)	4,360	3,578	3,458																																		
地域介護予防活動支援事業補助金交付団体数	29	48	56																																		
上記登録実人数(人)	678	1,136	1,229																																		
自己評価	* 関係各課・機関、生活支援コーディネーターとの連携により普及啓発を推進した結果、いきいき百歳体操をツールとした介護予防通いの場は順調に拡大している。 * 通いの場の立ち上げが地域により偏りがある。通いの場が不足な地域は、地域包括支援センターや関係各課と連携し、いきいき百歳体操にこだわらず、地域に合った介護予防につながる多様な通いの場の創出を推進する。																																				

施策の推進に関するこれまでの取り組み

鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

基本理念	誰もが、いつまでも生き生きと暮らし続けられる地域社会の実現																																																																														
基本目標	I いきいきと活動的に暮らせるために																																																																														
主要な施策	2 生きがいつくりと社会参加の促進																																																																														
取組内容	(1) 生涯学習の振興、高齢者のスポーツ機会の充実 (2) 自主活動への支援 (3) 高齢者の就労支援																																																																														
現状・実績	<p>(1) 生涯学習の振興、高齢者のスポーツ機会への支援として、各種事業を実施したが、年々参加人数が減少している。</p> <p>◎高齢者いきいきはつらつ創造事業(鶴岡地域)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>各種研修会</th> <th>高齢者作品展</th> <th>福祉体育祭</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">参加人数</td> <td>H29</td> <td>501</td> <td>356</td> <td>609</td> <td>1,466</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>91</td> <td>323</td> <td>575</td> <td>989</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>46</td> <td>309</td> <td>547</td> <td>902</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎50万歩への挑戦(ウォーキング)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>達成者数</td> <td>239</td> <td>143</td> <td>202</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 自主活動への支援としては、老人クラブへの支援を行うとともに、地域での支え合いの仕組みづくりを担う新たな担い手を養成するために「担い手養成研修会」を実施した。担い手養成研修修了者数は増加しているが、研修会終了後のフォローアップは実施しておらず、現在の活動状況の把握と、活躍してもらえるような働きかけが必要である。</p> <p>◎老人クラブ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>鶴岡</th> <th>藤島</th> <th>羽黒</th> <th>楡引</th> <th>朝日</th> <th>温海</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>65</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>21</td> <td>8</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>59</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>20</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>55</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>20</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎担い手養成研修修了者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>担い手養成研修修了者数 ( )内は累計数</td> <td>40 (84)</td> <td>49 (133)</td> <td>30 (163)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) シルバー人材センターでは、平成29年度から事業を開始した「介護予防・日常生活支援総合事業」の生活支援サービスについて、新たに訪問型サービスBの事業提供を開始した。これにより、登録会員の新たな活躍の場が生まれ、高齢者が生きがいを持って社会参加・就労できる環境の一つとなった。</p> <p>◎シルバー人材センター会員数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会員数(人)</td> <td>967</td> <td>1,011</td> <td>1,034</td> </tr> <tr> <td>就業実人員(人)</td> <td>845</td> <td>835</td> <td>853</td> </tr> </tbody> </table>			各種研修会	高齢者作品展	福祉体育祭	合計	参加人数	H29	501	356	609	1,466	H30	91	323	575	989	R1	46	309	547	902		H29	H30	R1	達成者数	239	143	202		鶴岡	藤島	羽黒	楡引	朝日	温海	H29	65	20	10	21	8	12	H30	59	11	9	20	8	10	R1	55	11	9	20	8	10		H29	H30	R1	担い手養成研修修了者数 ( )内は累計数	40 (84)	49 (133)	30 (163)		H29	H30	R1	会員数(人)	967	1,011	1,034	就業実人員(人)	845	835	853
		各種研修会	高齢者作品展	福祉体育祭	合計																																																																										
参加人数	H29	501	356	609	1,466																																																																										
	H30	91	323	575	989																																																																										
	R1	46	309	547	902																																																																										
	H29	H30	R1																																																																												
達成者数	239	143	202																																																																												
	鶴岡	藤島	羽黒	楡引	朝日	温海																																																																									
H29	65	20	10	21	8	12																																																																									
H30	59	11	9	20	8	10																																																																									
R1	55	11	9	20	8	10																																																																									
	H29	H30	R1																																																																												
担い手養成研修修了者数 ( )内は累計数	40 (84)	49 (133)	30 (163)																																																																												
	H29	H30	R1																																																																												
会員数(人)	967	1,011	1,034																																																																												
就業実人員(人)	845	835	853																																																																												
自己評価	高齢者が持つ現役時代に培った知識や経験は大変貴重な社会資源であり、高齢者が生きがいを持って社会参加・就労できるような支援のあり方について、検討が求められる。																																																																														

鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

基本理念	誰もが、いつまでも生き生きと暮らし続けられる地域社会の実現																														
基本目標	I いきいきと活動的に暮らせるために																														
主要な施策	3 地域生活を支える体制の充実																														
取組内容	<p>(1) 生活支援体制の整備</p> <p>(2) 介護保険以外のサービスの多様な展開</p> <p>(3) 高齢者等が外出しやすい交通環境づくり</p>																														
現状・実績	<p>(1) 地域包括ケア推進室に、第1層生活支援コーディネーターを、各地域包括支援センターに第2層生活支援コーディネーターを配置し、市内にある社会資源の情報を集めるとともに、地域課題の把握を行った。また、多様なサービスの担い手を創出することを目的に、「担い手養成研修会」を開催した。</p> <p>地域ケア個別会議、自立支援型地域ケア会議において集約された第2層・第3層の地域課題を地域ケア推進会議(生活支援体制整備事業における第1層協議体)にて検討し、令和元年度は「鶴岡市ストレッチャー対応タクシー車両維持経費等補助金」事業を創設、令和2年度においては認知症見守りラベルシール「どこシル伝言板」の導入を開始した。</p> <p>住民同士の支え合い活動の普及・推進を図るため、市内における通いの場の活動紹介をするため情報誌を作成した。また、通いの場に取り組む団体の活動意欲の向上、新規立ち上げへの機運を高めるために活動報告会を開催した。</p> <p>(2) 単身高齢者が安心して在宅での生活が続けられるように、日常生活用具の給付、また、認知症高齢者等を介護している家族の負担軽減、在宅生活の継続に向け見守りサービス事業を実施した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>・日常生活用具給付事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>火災警報器</th> <th>自動消火器</th> <th>電磁調理器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29年度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>・認知症高齢者等見守りサービス事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録者数</th> <th>訪問延べ時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29年度</td> <td>12</td> <td>1,515.5</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>9</td> <td>1,168.5</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>7</td> <td>1,671.0</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </table> <p>(3) 高齢者の外出を支える交通環境づくりとして、福祉車両における買い物支援が行われている。また、満70歳以上の方がバスを安価で利用できるゴールドバスや運転免許を自主返納された方を対象に、バスの回数券またはタクシー券5千円分を1回交付するなどの取組みが進められている。</p>	<p>・日常生活用具給付事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>火災警報器</th> <th>自動消火器</th> <th>電磁調理器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29年度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		火災警報器	自動消火器	電磁調理器	29年度	1	2	0	30年度	0	0	1	元年度	2	2	2	<p>・認知症高齢者等見守りサービス事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録者数</th> <th>訪問延べ時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29年度</td> <td>12</td> <td>1,515.5</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>9</td> <td>1,168.5</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>7</td> <td>1,671.0</td> </tr> </tbody> </table>		登録者数	訪問延べ時間	29年度	12	1,515.5	30年度	9	1,168.5	元年度	7	1,671.0
<p>・日常生活用具給付事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>火災警報器</th> <th>自動消火器</th> <th>電磁調理器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29年度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		火災警報器	自動消火器	電磁調理器	29年度	1	2	0	30年度	0	0	1	元年度	2	2	2	<p>・認知症高齢者等見守りサービス事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録者数</th> <th>訪問延べ時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29年度</td> <td>12</td> <td>1,515.5</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>9</td> <td>1,168.5</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>7</td> <td>1,671.0</td> </tr> </tbody> </table>		登録者数	訪問延べ時間	29年度	12	1,515.5	30年度	9	1,168.5	元年度	7	1,671.0		
	火災警報器	自動消火器	電磁調理器																												
29年度	1	2	0																												
30年度	0	0	1																												
元年度	2	2	2																												
	登録者数	訪問延べ時間																													
29年度	12	1,515.5																													
30年度	9	1,168.5																													
元年度	7	1,671.0																													
自己評価	<p>地域課題の把握から、課題解決に向けた生活支援の創出までには至らず、各地域の実情に合わせた新たな生活支援の創出が課題である。</p>																														

施策の推進に関するこれまでの取り組み

鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

基本理念	誰もが、いつまでも生き生きと暮らし続けられる地域社会の実現																																																
基本目標	Ⅱ 住み慣れた地域で安心して暮らせるために																																																
主要な施策	4 地域包括支援センターの強化																																																
取組内容	<p>(1)各地域包括支援センターに保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種を配置できるように、担当地区を再編し、高齢者を取り巻く世帯まるごとの相談に対応できるよう体制整備を図る。</p> <p>(2)活動の質の向上や適切な運営を行うため、地域包括支援センターの評価を行い、地域包括ケアシステムの構築を推進する。</p>																																																
現状・実績	<p>(1)地域包括支援センターは、平成30年10月に担当エリアの再編を行い、新たに2箇所の新設を行うとともに、全包括に保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士の3職種を配置できるように体制を整えた。</p> <p>参考1【地域包括支援センターの設置数及び委託職員数】</p> <table border="1" data-bbox="523 969 1366 1077"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域包括支援センター設置数</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>委託職員数(人)</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>*平成30年10月から59法人委託で、センター数11か所</p> <p>参考2【担当地域と高齢者人口】 (R1.9.30日現在)</p> <table border="1" data-bbox="523 1155 1366 1664"> <thead> <tr> <th>地域包括支援センター名</th> <th>担当地域</th> <th>高齢者人口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健楽園地域包括支援センター</td> <td>第一学区・第四学区</td> <td>6,522</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センターなえづ</td> <td>第二学区・斎・黄金</td> <td>3,488</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センターつくし</td> <td>第三学区・湯田川・田川</td> <td>4,570</td> </tr> <tr> <td>永寿荘地域包括支援センター</td> <td>第五学区・京田・栄</td> <td>3,361</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センターかたりあい</td> <td>第六学区・大泉・上郷・三瀬、由良、小堅</td> <td>6,772</td> </tr> <tr> <td>鶴岡西地域包括支援センター</td> <td>大山・加茂・湯野浜・西郷</td> <td>4,523</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センターふじしま</td> <td>藤島地域</td> <td>3,683</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センターはぐろ</td> <td>羽黒地域</td> <td>2,864</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センターくしびき</td> <td>楡引地域</td> <td>2,528</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センターあさひ</td> <td>朝日地域</td> <td>1,659</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センターあつみ</td> <td>温海地域</td> <td>3,219</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)平成30年度では保健師または保健師に準ずる者の確保が困難なセンターが多いという課題が挙げられた。人材確保につながる支援の一環として、保健師に準ずる者の要件を設定し、全センターに3職種の配置を実施した。</p> <p>(3)国の評価指標を用いての地域包括支援センターの評価結果にばらつきがあった。適切な評価を行うべく評価内容や方法を検証したうえで実施したところ、ばらつきの解消がみられた。また、結果は地域包括支援センター運営協議会に諮り、センターの機能強化につなげた。</p>		29年度	30年度	元年度	地域包括支援センター設置数	9	11	11	委託職員数(人)	29	33	35	地域包括支援センター名	担当地域	高齢者人口	健楽園地域包括支援センター	第一学区・第四学区	6,522	地域包括支援センターなえづ	第二学区・斎・黄金	3,488	地域包括支援センターつくし	第三学区・湯田川・田川	4,570	永寿荘地域包括支援センター	第五学区・京田・栄	3,361	地域包括支援センターかたりあい	第六学区・大泉・上郷・三瀬、由良、小堅	6,772	鶴岡西地域包括支援センター	大山・加茂・湯野浜・西郷	4,523	地域包括支援センターふじしま	藤島地域	3,683	地域包括支援センターはぐろ	羽黒地域	2,864	地域包括支援センターくしびき	楡引地域	2,528	地域包括支援センターあさひ	朝日地域	1,659	地域包括支援センターあつみ	温海地域	3,219
	29年度	30年度	元年度																																														
地域包括支援センター設置数	9	11	11																																														
委託職員数(人)	29	33	35																																														
地域包括支援センター名	担当地域	高齢者人口																																															
健楽園地域包括支援センター	第一学区・第四学区	6,522																																															
地域包括支援センターなえづ	第二学区・斎・黄金	3,488																																															
地域包括支援センターつくし	第三学区・湯田川・田川	4,570																																															
永寿荘地域包括支援センター	第五学区・京田・栄	3,361																																															
地域包括支援センターかたりあい	第六学区・大泉・上郷・三瀬、由良、小堅	6,772																																															
鶴岡西地域包括支援センター	大山・加茂・湯野浜・西郷	4,523																																															
地域包括支援センターふじしま	藤島地域	3,683																																															
地域包括支援センターはぐろ	羽黒地域	2,864																																															
地域包括支援センターくしびき	楡引地域	2,528																																															
地域包括支援センターあさひ	朝日地域	1,659																																															
地域包括支援センターあつみ	温海地域	3,219																																															
自己評価	<p>・全包括に保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士の3職種を配置したことで、高齢者を取り巻く包括的課題、多様化、深刻化している相談に対応できるよう体制になっている。</p> <p>・活動の質の向上や適切な運営を行うため、地域包括支援センターの評価を行い、PDCAサイクルの充実等により継続的な評価・点検の強化ができた。</p>																																																

施策の推進に関するこれまでの取り組み

鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

基本理念	誰もが、いつまでも生き生きと暮らし続けられる地域社会の実現																																																									
基本目標	Ⅱ 住み慣れた地域で安心して暮らせるために																																																									
主要な施策	5 地域ケア会議の推進																																																									
取組内容	(1) 地域ケア個別会議の開催 (2) 地域ケアネットワーク会議の開催 (3) 地域ケア推進会議の開催																																																									
現状・実績	<p>【実績】</p> <p>(1) 地域ケア個別会議</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">会議名</th> <th rowspan="2">参集者</th> <th colspan="3">年間開催(見込)回数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別ケース検討会議</td> <td>ケアマネジャー、事業所等</td> <td>69</td> <td>71</td> <td>55</td> <td>地域包括支援センターごとに随時開催</td> </tr> <tr> <td>自立支援型地域ケア会議</td> <td>専門職(6職種)、包括、ケアマネ、事業者等 30名程度</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>1回4事例</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 地域ケアネットワーク会議</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">会議名</th> <th rowspan="2">参集者</th> <th colspan="3">年間開催(見込)回数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域ケアネットワーク会議</td> <td>学区地区社協、町内会、包括、民生委員、福祉協力員等 10~20名程度</td> <td>135</td> <td>173</td> <td>188</td> <td>地域包括支援センターごとに開催</td> </tr> <tr> <td>地域ケア推進担当者会議</td> <td>包括、社協職員、健康課保健師、包括 5~7名</td> <td>205</td> <td>216</td> <td>220</td> <td>地域包括支援センターごとに開催</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 地域ケア推進会議</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">会議名</th> <th rowspan="2">参集者</th> <th colspan="3">年間開催(見込)回数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴岡市地域ケア推進会議</td> <td>自治会長、シルバー人材センター、社協、民生委員等 高齢福祉関係者、介護サービス事業所等 14名</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	会議名	参集者	年間開催(見込)回数			備考	H29年度	H30年度	R元年度	個別ケース検討会議	ケアマネジャー、事業所等	69	71	55	地域包括支援センターごとに随時開催	自立支援型地域ケア会議	専門職(6職種)、包括、ケアマネ、事業者等 30名程度	24	24	24	1回4事例	会議名	参集者	年間開催(見込)回数			備考	H29年度	H30年度	R元年度	地域ケアネットワーク会議	学区地区社協、町内会、包括、民生委員、福祉協力員等 10~20名程度	135	173	188	地域包括支援センターごとに開催	地域ケア推進担当者会議	包括、社協職員、健康課保健師、包括 5~7名	205	216	220	地域包括支援センターごとに開催	会議名	参集者	年間開催(見込)回数			備考	H29年度	H30年度	R元年度	鶴岡市地域ケア推進会議	自治会長、シルバー人材センター、社協、民生委員等 高齢福祉関係者、介護サービス事業所等 14名	3	2	3	
会議名	参集者			年間開催(見込)回数				備考																																																		
		H29年度	H30年度	R元年度																																																						
個別ケース検討会議	ケアマネジャー、事業所等	69	71	55	地域包括支援センターごとに随時開催																																																					
自立支援型地域ケア会議	専門職(6職種)、包括、ケアマネ、事業者等 30名程度	24	24	24	1回4事例																																																					
会議名	参集者	年間開催(見込)回数			備考																																																					
		H29年度	H30年度	R元年度																																																						
地域ケアネットワーク会議	学区地区社協、町内会、包括、民生委員、福祉協力員等 10~20名程度	135	173	188	地域包括支援センターごとに開催																																																					
地域ケア推進担当者会議	包括、社協職員、健康課保健師、包括 5~7名	205	216	220	地域包括支援センターごとに開催																																																					
会議名	参集者	年間開催(見込)回数			備考																																																					
		H29年度	H30年度	R元年度																																																						
鶴岡市地域ケア推進会議	自治会長、シルバー人材センター、社協、民生委員等 高齢福祉関係者、介護サービス事業所等 14名	3	2	3																																																						
自己評価	<p>* 本施策はおおむね順調に推移している。</p> <p>* 地域ケア会議の個別会議→ネットワーク会議→推進会議といった一連の仕組みづくりには取り組むことができた。</p> <p>* 地域ケア個別会議後に会議を主催した地域包括支援センターより報告書の提出を受けているが、個別ケースの対応方針の検討のみで地域課題や地域に不足しているサービスの抽出まで至っていないケースが少数ではあるが見受けられており、地域課題の抽出を行うスキルアップを図る必要がある。</p>																																																									

鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

基本理念	誰もが、いつまでも生き活きと暮らし続けられる地域社会の実現												
基本目標	Ⅱ 住み慣れた地域で安心して暮らせるために												
主要な施策	6 認知症施策の推進												
取組内容	<p>(1) 認知症への理解を深めるための取組み</p> <p>(2) 認知症を予防するための取組み</p> <p>(3) 早期発見・早期相談支援のための取組み</p> <p>(4) 認知症の日常生活を支えるための取組み</p> <p>(5) 保健・医療・介護のネットワーク構築の取組み</p>												
現状・実績	<p>(1) 国の認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)に基づき、関係機関との協働により認知症支援策を展開している。</p> <p>(2) 認知症への理解を深めるための取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「認知症サポーター養成講座」は学校、企業などに拡大し実施</li> </ul> <p><b>【参考】認知症サポーター養成事業</b></p> <table border="1" data-bbox="486 922 1093 1025"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数(回)</td> <td>62</td> <td>66</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>参加者数(人)</td> <td>2,078</td> <td>2,108</td> <td>1,621</td> </tr> </tbody> </table> <p>⇒ 新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止したことが影響</p> <p>* 令和元年度末累計 17,721人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ボランティア「つるおかオレンジサポートの会」(平成29年6月に発足)立上げ支援</li> </ul> <p>(3) 認知症の予防、早期発見、早期対応の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット「認知症予防の秘訣」作成、健康教室に活用(健康課)</li> <li>・認知症初期集中支援チーム(平成27年11月～)による支援 R1:新規支援実数4人</li> </ul> <p>(4) 日常生活を支える取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「認知症カフェ」の開設 R1:15ヶ所で実施、認知症カフェ出前講座:7回</li> <li>・認知症高齢者等見守りサービス 登録者 R1:7人 訪問延べ1,671時間</li> <li>・認知症予防手帳(つるおかオレンジ手帳)の発行 H29～R1:12冊</li> <li>・認知症徘徊SOS「ほっと安心」見守りネットつるおか登録者数 R2.7:約230人</li> <li>・見守りシール「どこシル伝言板」システム導入 (R2.8～運用開始)</li> <li>・「認知症を理解する教室」の開催 年5～6回 R1:5回 延べ135人参加</li> </ul> <p>(5) 保健・医療・介護のネットワーク構築の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケアパス(認知症の人と家族のためのガイドブック)の更新(R1. 10月)</li> <li>・認知症対応力向上研修会 年1回 R1:107人参加</li> <li>・認知症キャラバン・メイトフォローアップ研修会 年1回 R1:118人参加</li> <li>・認知症等に関する相談情報連絡箋 R1:15件発行</li> <li>・もの忘れ相談医登録 23か所 登録医師数24人</li> <li>・認知症地域支援推進員の設置(長寿介護課と各地域包括支援センターに1名ずつ配置)</li> </ul>		29年度	30年度	元年度	回数(回)	62	66	44	参加者数(人)	2,078	2,108	1,621
	29年度	30年度	元年度										
回数(回)	62	66	44										
参加者数(人)	2,078	2,108	1,621										
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症への理解と対応力を深めるため、予防に対する啓発や対応力向上研修、認知症サポーター等の育成を行っている。</li> <li>・認知症サポーター養成講座は、市民有志の「つるおかオレンジサポートの会」と共に取り組むことで、小中高校や事業者等新規の開設場所の拡大につながっている。</li> <li>・地域における支援体制の構築を図るため、認知症カフェ等により認知症高齢者とその家族を支える仕組みづくりを行った。</li> <li>・「認知症カフェ出前講座」により、新規開設数は増加しているものの、まだ市民の理解は十分に得られていない。</li> <li>・若年性認知症の人からの相談は増加傾向にあるため、若年性認知症本人・家族への相談支援体制、学び・交流の場の整備を図っていく必要がある。</li> <li>・医師等専門職で構成される「認知症初期集中支援チーム」設置により、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制が確立されたが、新規支援件数は横ばいである。</li> </ul>												

鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

基本理念	誰もが、いつまでも生き活きと暮らし続けられる地域社会の実現												
基本目標	Ⅱ 住み慣れた地域で安心して暮らせるために												
主要な施策	7 地域での見守りと支え合い												
取組内容	<p>(1) 住民主体による地域支え合い活動への支援</p> <p>(2) 民生委員・児童委員による地域における見守り活動の継続</p> <p>(3) 地域支え合い活動の充実</p> <p>(4) 地域の支え合い活動の担い手及び地域リーダーの発掘・育成</p> <p>(5) 包括的な相談支援などの新しい福祉サービス提供を担う人材の育成・確保</p> <p>(6) 地域住民の主体的な防災への取り組み支援</p> <p>(7) 安全・安心な暮らしの確保に向けた地域づくり</p>												
現状・実績	<p>(1) 第2層生活支援コーディネーターの活動により、通所型サービスBの創出や地区を越えての交流会が開催されるなど、新たな支え合い活動が見出されている。また、山形県と電気や新聞社、郵便事業者等の民間事業者と「地域の見守り活動に関する協定」を締結し、民間事業者の日常業務の範囲で、住民の生活に異変を感じた場合は、速やかに市町村に連絡することや市町村が行う孤立防止の取組みに協力するよう努めることとしている。本市における協定に基づく連絡が令和元年・2年に各1件寄せられ、地域包括支援センターを通じて対応した。</p> <p>(2) 見守り等が必要な満70歳以上の高齢数について、多少減少傾向にあるものの民生委員の見守り活動が継続されている。</p> <p>◎独居高齢者等訪問支援事業の対象者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,850</td> <td>1,829</td> <td>1,802</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 地域支え合い活動は、地域ケア推進担当者が各地域へ入り支援している。また、地区社協等が進めている安心カード設置件数は、年々増加している。</p> <p>◎安心カードの設置件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,741</td> <td>7,333</td> <td>7,716</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 地域での支え合いの仕組みづくりを担う新たな担い手を養成するために「担い手養成研修会」を実施した。担い手養成研修修了者数は増加しているが、研修会終了後のフォローアップは実施しておらず、現在の活動状況の把握と、活躍してもらえるような働きかけが必要である。また、地域福祉リーダー養成研修会を開催し、地域課題に取り組んでいくために必要な知識や技術を提供した。</p> <p>(5) 全世代にまたがる複合的な課題を抱える世帯への支援について、地域包括支援センターや障害者相談支援センター、子ども家庭支援センター、鶴岡地域生活自立支援センターなど、各分野の関係機関が連携を図りながら対応を進めている。地域包括ケアシステムの進化・推進を図るため、国で来年度から実施される予定の「重層的支援体制整備事業」の動向も注視しながら、今年度策定予定の地域福祉計画の中で検討する。</p> <p>(6) 災害時やまたその発生の恐れがあるとき、避難行動要支援者名簿を提供できる体制を整えた。また、個別計画作成に向けて、今年度モデル地区を募集し、実施検証していく。</p> <p>(7) 地域での見守り活動や支え合い活動の取組みが図られるよう「住民自治組織課題別研修会」等の各種研修会の実施や地域づくり支援事業、アドバイザー職員制度の運用により、住民組織が行う主体的な地域づくり活動を支援している。過疎対策の取組は継続的には行っているが、地域とのマッチングに課題が残った。</p>	H29	H30	R1	1,850	1,829	1,802	H29	H30	R1	6,741	7,333	7,716
H29	H30	R1											
1,850	1,829	1,802											
H29	H30	R1											
6,741	7,333	7,716											
自己評価	<p>地域での見守り、支え合い活動の推進に向け、多様な取組が行われているが、地域住民の生活ニーズは多様化しており、十分な支援が行き届いているとは言い難く、引き続き課題解決に向けた取組を検討していく。</p>												

鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

基本理念	誰もが、いつまでも生き活きと暮らし続けられる地域社会の実現																																											
基本目標	Ⅱ 住み慣れた地域で安心して暮らせるために																																											
主要な施策	8 介護者に対する支援の充実																																											
取組内容	(1) 家族介護者交流支援事業 (2) 家族介護慰労事業																																											
現状・実績	<p>(1) 家族介護者交流支援事業</p> <p>・令和元年度までは、温泉施設や観光施設において、家族介護者交流のつどいを開催し、温泉入浴やマッサージ等のリフレッシュする機会を提供するとともに、介護相談や他の家族介護者との交流の場を設けることにより、家族介護者の身体的・精神的負担の軽減を図った。</p> <p>・年々、開催回数や参加者数が減少傾向にあることや介護技法等の学びの場を望む声もあり、令和2年度については、事業内容を見直し、慰安を重点においた内容から学び合いの機会を設けた内容とし、また、対象者を家族介護者に限定せず介護に関心のある方も対象にしながら実施している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>鶴岡</th> <th>厩島</th> <th>羽黒</th> <th>榊引</th> <th>朝日</th> <th>温海</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">30年度</td> <td>開催回数</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>参加者(人)</td> <td>62</td> <td>10</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>14</td> <td>25</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">元年度</td> <td>開催回数</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>参加者(人)</td> <td>65</td> <td>14</td> <td>29</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>154</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 家族介護慰労事業(1年間介護保険サービスを利用せず介護している家族への慰労金支給)</p> <p>・近年、申請がなかったが、令和元年度に地域支援事業実施要綱改正に伴い支給要件を緩和したところ、2件の申請があり支給を行った。</p> <p>※支給要件の主な改正点</p> <p>旧: 要介護4又は5の認定を受けている(相当する)在宅要介護高齢者等を主として介護している市民税非課税世帯の者</p> <p>新: 要介護3以上の認定を受けている(相当する)在宅要介護高齢者等を現に適切に介護している家族</p>			鶴岡	厩島	羽黒	榊引	朝日	温海	合計	30年度	開催回数	4	2	2	2	2	2	14	参加者(人)	62	10	23	26	14	25	160	元年度	開催回数	4	1	2	2	1	2	12	参加者(人)	65	14	29	17	14	15	154
		鶴岡	厩島	羽黒	榊引	朝日	温海	合計																																				
30年度	開催回数	4	2	2	2	2	2	14																																				
	参加者(人)	62	10	23	26	14	25	160																																				
元年度	開催回数	4	1	2	2	1	2	12																																				
	参加者(人)	65	14	29	17	14	15	154																																				
自己評価	<p>○家族介護者交流のつどいについては、参加者数が減少傾向にあるものの、参加者の身体的・精神的負担の軽減が図られている。事業内容見直し後の開催結果について効果を検証し、介護者自身の心身の健康維持や介護力に対する支援が図られるよう実施方法や内容について更に検討を進めたい。</p>																																											



鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

基本理念	誰もが、いつまでも生き活きと暮らし続けられる地域社会の実現																
基本目標	Ⅱ 住み慣れた地域で安心して暮らせるために																
主要な施策	9 医療・介護・保健福祉の連携																
取組内容	<p>(1) 複合的な課題を抱えた世帯等への地域支援体制づくり</p> <p>(2) 在宅医療・介護連携推進事業</p>																
現状・実績	<p>(1) 各地域包括支援センターに配置した第2層生活支援コーディネーターを中心に、高齢者を地域で支える体制づくりが進められてきた。今後、この取組みを推進する中で、高齢者を中心としたものから、全世代全対象型の支援体制構築に向け取組みを模索していきたい。</p> <p>(2) ・年6回鶴岡市医療介護連携企画会議や庄内プロジェクトコアメンバー会議等において、在宅医療・介護連携等について、議論を行い、課題抽出と対応策を検討している。令和元年度には医療・介護・福祉における連携の実態調査を行い、報告書作成した。</p> <p>・医師会、荘内病院とともに相談窓口を設置し、さまざまな相談に対応している。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等との連携支援は増加傾向である。</p> <p>◎医療機関と地域包括支援センターとの連携(延べ人数)</p> <table border="1" data-bbox="432 1171 1051 1267"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>1,890</td> <td>1,741</td> <td>2,021</td> </tr> </tbody> </table> <p>*地域包括支援センター実績報告より</p> <p>・「Net4U」、「Note4U」、学習会集約カレンダー、ショートステイ空き情報、地域連携パス、医療情報ネットワーク(ちょうかいネット等)により、医療・介護関係者の情報共有に向けた支援を行っている。</p> <p>・多職種参加型の研修会、庄内プロジェクト関連研修会を開催している。</p> <p>◎医療と介護の連携研修会参加状況 年2回開催</p> <table border="1" data-bbox="432 1518 1051 1615"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>366</td> <td>334</td> <td>334</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「南庄内在宅医療を考える会」や地域医療支援病院の登録医制度の推進。訪問診療体制を2人主治医制とする取組みを実施している。</p> <p>・市民公開講座、市民健康のつどい、つるおか健康塾、ほっと広場等において、広く市民に普及啓発を行った。</p> <p>・医師会合同ミーティングの場を通し、当地域の医療介護連携に関する課題や情報共有を行っている。</p>	年度	H29	H30	R1	相談件数	1,890	1,741	2,021	年度	H29	H30	R1	参加者数	366	334	334
年度	H29	H30	R1														
相談件数	1,890	1,741	2,021														
年度	H29	H30	R1														
参加者数	366	334	334														
自己評価	<p>複合的な課題を抱えた世帯等への地域支援体制づくりについては、支援体制構築に向けて取組みを検討していく。</p> <p>鶴岡地区医師会や荘内病院と連携を図り、在宅医療・介護連携体制の充実が図られてきた。今後、医療・介護・福祉における連携の課題解決に向け、対応策を講じ、さらなる連携体制の強化につなげる。</p>																

鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

基本理念	誰もが、いつまでも生き生きと暮らし続けられる地域社会の実現																																
基本目標	Ⅱ 住み慣れた地域で安心して暮らせるために																																
主要な施策	10 個々の状況に応じた住まい																																
取組内容	(1) 在宅生活継続への支援 (2) 住宅確保要配慮者の住宅確保 (3) 多様な住まい、施設の確保																																
現状・実績	<p>(1) 在宅生活継続への支援</p> <p>・高齢者住宅整備資金の融資あっせん(利子補給)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>新規件数</th> <th>あっせん額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30年度</td> <td>1</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 住宅確保要配慮者の住宅確保</p> <p>新たな住宅セーフティネット制度の活用と推進により、鶴岡市居住支援協議会が仲立ちとなり、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進等を図るため、要配慮者・民間賃貸住宅賃貸人の双方に対し、住宅情報の提供等の支援を行っている。</p> <p>また、令和元年度より、改修費補助の他、家賃低廉化及び債務保証補助支援を開始している。</p> <p>・住宅確保要配慮者向け物件の紹介実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>依頼件数</th> <th>紹介件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30年度</td> <td>38</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>68</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table> <p>・住宅確保要配慮者専用賃貸住宅改修事業実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30年度</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 多様な住まい、施設の確保</p> <p>養護老人ホームについて、市内にある2施設はどちらも老朽化が進み2~3人居室であったが、市設置の養護老人ホーム友江荘については、平成30年度に民間移管及び建替えにより、重度要介護者の特養等の適切施設への入所替えを進め安心して生活できる施設環境整備を行った。湯野浜恩園についても令和2年度の建替え完成を目指している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>定員・戸数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>養護老人ホーム</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>経費老人ホーム(ケアハウス)</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>生活支援ハウス(高齢者生活福祉センター)</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>		新規件数	あっせん額(千円)	30年度	1	3,000	元年度	0	0		依頼件数	紹介件数	30年度	38	30	元年度	68	49		件数	30年度	2	元年度	2	種 類	定員・戸数	養護老人ホーム	120	経費老人ホーム(ケアハウス)	50	生活支援ハウス(高齢者生活福祉センター)	30
	新規件数	あっせん額(千円)																															
30年度	1	3,000																															
元年度	0	0																															
	依頼件数	紹介件数																															
30年度	38	30																															
元年度	68	49																															
	件数																																
30年度	2																																
元年度	2																																
種 類	定員・戸数																																
養護老人ホーム	120																																
経費老人ホーム(ケアハウス)	50																																
生活支援ハウス(高齢者生活福祉センター)	30																																
自己評価	〇年齢とともに身体状況、経済状況等に応じた多様な住まいが求められている。多様な生活課題を抱える高齢者が増加する中、多岐にわたる居住ニーズに応じて、安心して安全に暮らすことができる住環境の整備を進める必要がある。																																

施策の推進に関するこれまでの取り組み

鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

基本理念	誰もが、いつまでも生き活きと暮らし続けられる地域社会の実現																								
基本目標	Ⅱ 住み慣れた地域で安心して暮らせるために																								
主要な施策	11 本人の自己決定支援																								
取組内容	(1) 高齢者の尊厳の保持 (2) 人生の最期を豊かに過ごすための自己決定 (3) 権利擁護																								
現状・実績	<p>【現状】          高齢者に対する虐待防止や早期発見のため、相談や通報後の事実確認から支援に至るまで地域包括支援センター等関係機関との連携を図り、迅速な対応を実施している。また、年2回の鶴岡市高齢者障害者虐待防止等連絡協議会の開催を通じて関係機関との支援ネットワークの強化を図っている。</p> <p>また、判断能力が十分でなく、後見等開始の審判請求を行う親族がいない高齢者の成年後見等開始の申し立てを市で行うとともに、鑑定費用や後見人等報酬を負担できない低所得者に対する費用の一部助成を行っている。また、家庭裁判所と家事関係機関との連絡協議会への参加を通じて関係機関とのネットワークの強化と成年後見制度等の利用促進を実施している。</p> <p>【実績】</p> <p>養護者による高齢者虐待</p> <table border="1" data-bbox="437 1223 1107 1397"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談・通報等 新規受付件数</td> <td>51</td> <td>45</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>虐待事実が 確認された件数</td> <td>31</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> <p>成年後見制度の利用支援</p> <table border="1" data-bbox="437 1464 1107 1644"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市長申立件数</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>報酬助成件数</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>		H29年度	H30年度	R元年度	相談・通報等 新規受付件数	51	45	57	虐待事実が 確認された件数	31	25	25		H29年度	H30年度	R元年度	市長申立件数	9	7	5	報酬助成件数	7	8	14
	H29年度	H30年度	R元年度																						
相談・通報等 新規受付件数	51	45	57																						
虐待事実が 確認された件数	31	25	25																						
	H29年度	H30年度	R元年度																						
市長申立件数	9	7	5																						
報酬助成件数	7	8	14																						
自己評価	<p>* 本施策は順調に実施されている。</p> <p>* 高齢者人口・認知症高齢者の増加及び家族形態の変化等により、支援が必要な高齢者の増加が見込まれることから、引き続き関係機関や地域包括支援センターと連携し、高齢者虐待への対応並びに成年後見制度支援の対象者の把握と、普及・啓発活動を進めていく必要がある。</p>																								

施策の推進に関するこれまでの取り組み

鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

基本理念	誰もが、いつまでも生き生きと暮らし続けられる地域社会の実現																																															
基本目標	Ⅲ 介護保険をよりよく適切に使うために																																															
主要な施策	12. 介護保険サービスの円滑な提供																																															
取組内容	<p>(1) サービス情報の提供</p> <p>(2) 介護サービスの質の向上</p> <p>①介護相談員派遣</p> <p>②介護保険事業者連絡協議会</p> <p>(3) 施設等の整備計画</p>																																															
現状・実績	<p>(1) サービス情報の提供 介護保険制度に関する冊子やチラシの作成・ホームページでの情報提供</p> <p>(2) 介護サービスの質の向上</p> <p>①介護相談員派遣 12名の介護相談員が36事業所(主に地域密着型サービス事業所)に訪問し、利用者の疑問等を事業所に伝える「橋渡し役」の活動をした。</p> <p>②介護保険事業者連絡協議会 本会に254介護保険事業所が加入し、12部会の各幹事の協力のもと、各部会の開催や全体での研修会を行った。</p> <p>(3) 施設等の整備計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症対応型共同生活介護及び養護老人ホームは概ね計画どおり整備</li> <li>・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護については29床から20床に減じて整備</li> </ul> <table border="1" data-bbox="491 1406 1362 1659"> <thead> <tr> <th rowspan="2">サービス種別</th> <th colspan="2">平成29年度末整備数</th> <th rowspan="2">7期中の整備計画</th> <th colspan="3">年度別実績</th> <th colspan="2">令和2年度末整備予定数</th> </tr> <tr> <th>施設等数</th> <th>定員数(人)</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>施設等数</th> <th>定員数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">認知症対応型共同生活介護(グループホーム)</td> <td rowspan="2">22</td> <td rowspan="2">369</td> <td>創設 36床</td> <td>—</td> <td>18床</td> <td>18床</td> <td rowspan="2">24</td> <td rowspan="2">405</td> </tr> <tr> <td>移転 18床</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>18床</td> </tr> <tr> <td>地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(小規模特別養護老人ホーム)【注】</td> <td>5</td> <td>145</td> <td>創設 29床</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>20床</td> <td>6</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>養護老人ホーム【注】</td> <td>2</td> <td>120</td> <td>移転 1カ所(29床)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>30床</td> <td>2</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>【注】平成29年度から平成30年度へ繰越整備した地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護1施設29床及び養護老人ホーム1施設70床分は「平成29年度末整備数」分に含む。</p>	サービス種別	平成29年度末整備数		7期中の整備計画	年度別実績			令和2年度末整備予定数		施設等数	定員数(人)	H30	R01	R02	施設等数	定員数(人)	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	22	369	創設 36床	—	18床	18床	24	405	移転 18床	—	—	18床	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(小規模特別養護老人ホーム)【注】	5	145	創設 29床	—	—	20床	6	165	養護老人ホーム【注】	2	120	移転 1カ所(29床)	—	—	30床	2	100
サービス種別	平成29年度末整備数		7期中の整備計画	年度別実績			令和2年度末整備予定数																																									
	施設等数	定員数(人)		H30	R01	R02	施設等数	定員数(人)																																								
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	22	369	創設 36床	—	18床	18床	24	405																																								
			移転 18床	—	—	18床																																										
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(小規模特別養護老人ホーム)【注】	5	145	創設 29床	—	—	20床	6	165																																								
養護老人ホーム【注】	2	120	移転 1カ所(29床)	—	—	30床	2	100																																								
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防・日常生活支援総合事業サービス事業の多様なサービスについても、ちらし配布により利用者への情報提供・利用の一助となった。</li> <li>・介護相談員の訪問相談活動により、介護サービスに対する苦情の未然防止及びサービスの質の向上が図られた。</li> <li>・部会ごとの情報交換や、研修会の開催などにより、サービスの質の向上とともに介護保険事業の円滑な運営の一助となった。</li> <li>・地域密着型サービス施設等の整備により特別養護老人ホーム等の自宅待機者が275人(H29.4.1現在)から 人(R02.4.1現在)に減少し、高齢者が地域において、安心して生活できる体制の構築が図られた。</li> </ul>																																															

施策の推進に関するこれまでの取り組み

鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

基本理念	誰もが、いつまでも生き活きと暮らし続けられる地域社会の実現																																																					
基本目標	Ⅲ 介護保険をよりよく適切に使うために																																																					
主要な施策	13 介護保険事業の適正な運営																																																					
取組内容	<p>(1) 要介護認定の適正化(調査票点検、調査員、審査会委員研修の実施)</p> <p>(2) ケアプランの点検</p> <p>(3) 住宅改修・福祉用具の点検</p> <p>(4) 縦覧点検・医療情報との突合</p> <p>(5) 市民啓発及び研修会</p> <p>(6) 介護サービス事業者に対する実地指導</p>																																																					
現状・実績	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者数の増加及び高齢化率の上昇に伴い要介護等ニーズの増加。</li> <li>・要介護認定率が全国、県に比較し高い。(国18.5%、県17.9%、鶴岡市19.3% R2.3.31)</li> <li>・介護保険料が県内13市のうち最も高い。</li> <li>・第1号被保険者1人1月あたり費用額が国、県に比し高い。(見える化データより) (国24,138円、県26,331円、鶴岡市29,575円) (令和元年度R2.2月サービス提供分まで)</li> <li>・介護保険の理念である自立支援、重度化防止が市民、サービス提供事業者、介護支援専門員、要介護認定調査員、要介護認定審査会委員等に浸透していない。</li> </ul> <p>(1) 介護認定調査票点検実績</p> <table border="1" data-bbox="459 1229 930 1337"> <thead> <tr> <th>実施件数</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重点点検</td> <td>97</td> <td>81</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>事前点検</td> <td>-</td> <td>6,597</td> <td>7,835</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ケアプラン点検実施状況</p> <table border="1" data-bbox="459 1391 1007 1606"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施内容</th> <th colspan="3">実施件数</th> </tr> <tr> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多職種による点検</td> <td>108</td> <td>91</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>主任介護支援専門員による点検</td> <td>-</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>事業所訪問による点検</td> <td></td> <td>30</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>テーマを定めた点検</td> <td></td> <td>119</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>ケアプラン点検計</td> <td>108</td> <td>260</td> <td>238</td> </tr> <tr> <td>事業所個別サービス計画点検</td> <td>31</td> <td>12</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 住宅改修・福祉用具の点検</p> <table border="1" data-bbox="459 1659 957 1816"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前点検件数</td> <td>237</td> </tr> <tr> <td>専門職を交えた疑義点検件数</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>家庭訪問による現地確認</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>多職種による点検会議開催回数</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 「鶴岡市推奨版 居宅サービス計画の基本的な考え方と書き方の手引き」を作成し居宅介護支援事業所等に配布。</p>	実施件数	29年度	30年度	元年度	重点点検	97	81	82	事前点検	-	6,597	7,835	実施内容	実施件数			29年度	30年度	元年度	多職種による点検	108	91	88	主任介護支援専門員による点検	-	20	20	事業所訪問による点検		30	32	テーマを定めた点検		119	98	ケアプラン点検計	108	260	238	事業所個別サービス計画点検	31	12	17	項目	元年度	事前点検件数	237	専門職を交えた疑義点検件数	3	家庭訪問による現地確認	3	多職種による点検会議開催回数	1
実施件数	29年度	30年度	元年度																																																			
重点点検	97	81	82																																																			
事前点検	-	6,597	7,835																																																			
実施内容	実施件数																																																					
	29年度	30年度	元年度																																																			
多職種による点検	108	91	88																																																			
主任介護支援専門員による点検	-	20	20																																																			
事業所訪問による点検		30	32																																																			
テーマを定めた点検		119	98																																																			
ケアプラン点検計	108	260	238																																																			
事業所個別サービス計画点検	31	12	17																																																			
項目	元年度																																																					
事前点検件数	237																																																					
専門職を交えた疑義点検件数	3																																																					
家庭訪問による現地確認	3																																																					
多職種による点検会議開催回数	1																																																					
自己評価	<p>高齢者人口は増加しているが、要介護認定率は上がっていない。認定適正化業務分析データによれば、調査項目等について乖離項目が減少している等により一定の効果は出てきている。お世話型介護から介護保険の理念である要介護等高齢者の「尊厳保持」、「自立支援」の真の意味の理解と実現をすすめ、介護保険制度持続可能性を高めるため積極的取組が必要である。</p>																																																					

施策の推進に関するこれまでの取り組み

鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

基本理念	誰もが、いつまでも生き生きと暮らし続けられる地域社会の実現
基本目標	Ⅲ 介護保険をよりよく適切に使うために
主要な施策	14 介護人材の確保・定着・育成及び質の向上
取組内容	(1) 介護職員等の処遇改善 (2) 介護職員等の育成・確保
現状・実績	<p>(1) 介護職員の処遇改善については、介護職員処遇改善加算の拡充も含め、これまで数次にわたる取組を行ってきた。(合計で月平均5.7千円) 令和元年度実績で全事業所の約9割(89.5%)が取り組んでいる。</p> <p>さらに、令和元年10月の消費税率引上げに伴う介護報酬改定において、他の介護職員などの処遇改善にこの処遇改善の収入を充てることができるよう柔軟な運用を認めることを前提に、介護サービス事業所における勤続年数10年以上の介護福祉士について月額平均8万円相当の処遇改善を行う、介護職員特定処遇改善加算も創設されたが、始まって間もない制度のため、事業所全体の約4割(44.4%)にとどまっている。</p> <p>(2)-1 市全体の取り組みとして、首都圏、仙台圏においてUターン、Iターン就職説明会を開催し、地元の会社、事業所に積極的に参加してもらっている。</p> <p>(2)-2 毎年、介護職員の人材育成の一環で高校のボランティア福祉コース2年生を対象とした「介護職員初任者研修」の講師として職員を派遣している。</p> <p>(2)-3 昨年度、県福祉人材センターの共催で「福祉のしごと面談会(※)」を開催。(市内15法人が参加し、69名の面談者の内1名が採用) 今年度についても、12月に開催予定。前年度と同様に県福祉人材センターと連携し、取り組む。</p> <p>※「福祉のしごと面談会」 社会福祉事業への就職希望者や福祉の仕事に関心のある方を対象に、求人希望する社会福祉施設・福祉サービス事業所との相談会の場を提供し、福祉人材の確保推進と就職活動の支援を目的とする。</p>
自己評価	・人材確保に十分つながっていない状況にあるので、国及び県、学校など関係機関等と連携・協働により支援を検討していく。